

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 28日	
浜松市長 中野祐介 殿	
提出者	
住 所 浜松市中央区薬師町416番地	
氏 名 株式会社 天竜組 代表取締役社長 山田 克巳	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 053-421-0617	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	浜松市内各工事現場
事業場の所在地	県内短期間事業所 29箇所分
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 (令和4年度実績) 471,565千円
③ 従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（2023「年度」実績）】

産業廃棄物の
種 類

別紙3のとおり

その他がれき類

排 出 量

1574.15 t

（これまでに実施した取組）
異物が混ざらないよう分別を徹底し排出量を抑えた。※公共工事受注での発生量がほとんどでした。（前年度2022年度よりも増）

②計画

【目標】

産業廃棄物の
種 類

別紙3のとおり

その他がれき類

排 出 量

950.00 t

（今後実施する予定の取組）
引続き分別を徹底する。前年度は公共工事受注による排出量が主でしたが重機での破碎等で排出量を抑えるように努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
産廃品目ごとの分別表作成掲示。（弊社作業場）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
弊社各現場監督員及び作業員・協力業者に分別教育を行う。
→産廃管理責任者

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023「年度」実績）】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	安定型混合廃棄物
	排出量		24.60 t
	(これまでに実施した取組) 再利用できるものは分別しリサイクル材として個別に処分し排出量を抑えることができた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	安定型混合廃棄物
	排出量		24.60 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別を徹底しリサイクル材として再利用できるものは個別に分別処分する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成掲示。(弊社作業場)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員及び作業員・協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023「年度」実績）】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	管理型混合廃棄物
	排出量		4.00 t
	(これまでに実施した取組) 石綿含有等の有無を試料採取→定性分析調査し石綿等有害物質不検出の場合は安定型混合廃棄物として排出、管理型混合廃棄物の排出量を抑えることができた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	管理型混合廃棄物
	排出量		4.00 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き分別の徹底また定性分析調査等にて管理型混合廃棄物の排出量を抑えるように努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産廃品目ごとの分別表作成掲示。(弊社作業場) 定性分析による石綿含有等の有無調査。 →弊社一般建築物石綿含有建材調査者
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 弊社各現場監督員及び作業員・協力業者に分別教育を行う。 →産廃管理責任者 引続き定性分析による石綿含有等の有無調査。 →弊社一般建築物石綿含有建材調査者

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0.00 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0.00 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0.00 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0.00 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0.00 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0.00 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量		1624.24 t
	優良認定処理業者への処理委託量		44.50 t
	再生利用業者への処理委託量		1595.24 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t
	(これまでに実施した取組) できるだけ優良認定業者への処理委託量を増やす。		

②計画	【目標】産廃分別を徹底、再利用できるものはリサイクル材として排出する。		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量		993.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量		38.00 t
	再生利用業者への処理委託量		974.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き優良認定業者を選定する。		
※事務処理欄			

(別紙1)産業廃棄物の品目ごとの処理工程



	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
産業廃棄物の排出の抑制に関する取組	分別を徹底し再利用に努めた。 建設混合廃棄物の分別を行い、リサイクル材として処分できるものは、個別に処分する。	引き続き品目ごとの分別を徹底、掲示物等を利用、表示する。
分別に関する取組	廃棄物の分別表を作成し、現場作業員に周知徹底した。	社員及び協力業者に産業廃棄物の分別に関する教育を行い、引続き混合廃棄物の発生量を抑えるように努める。
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する取組	なし	なし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する取組	なし	なし
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する取組	なし	なし
産業廃棄物の処理の委託に関する取組	できるだけ優良認定業者への処理委託量を増やす。	引続き優良認定業者を選定し委託量を増やせるようにする。

[illegible]

事業所名		浜松市内各工事現場	別紙3 産業廃棄物の種類													
住所		県内短期間事業所29箇所														
業種		建設業	石綿含有ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	廃石膏ボード	鋳さい	廃アスファルト	廃コンクリート	その他がれき類	石綿含有がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	13号廃棄物	安定型混合	管理型混合	合計
前年度実績	自ら処理	① 産業廃棄物発生量(t)						1574.15t						24.60t	4.00t	1624.24t
		② 自ら直接再生利用した量														0.00t
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量														0.00t
		④ 自ら中間処理した量														0.00t
		⑤ ④のうち熱回収を行った量														0.00t
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量														0.00t
		⑦ 自ら中間処理により減量した量														0.00t
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量														0.00t
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量														0.00t
	処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量						1574.15t						24.60t	4.00t	1624.24t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量												24.60t	4.00t	44.50t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量						1574.15t								1595.24t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量														0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量														0.00t
今年度計画	自ら処理	① 産業廃棄物発生量(t)						950.00t						15.00t	4.00t	993.00t
		② 自ら直接再生利用する量														0.00t
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量														0.00t
		④ 自ら中間処理する量														0.00t
		⑤ ④のうち熱回収を行う量														0.00t
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量														0.00t
		⑦ 自ら中間処理により減量する量														0.00t
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量														0.00t
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量														0.00t
	処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量						950.00t						15.00t	4.00t	993.00t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量												15.00t	4.00t	38.00t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量						950.00t								974.00t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量														0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量														0.00t